



文武両輪

～学習も行事も部活動も～

令和4年10月28日

【文責】校長 蔦川 誠

芸術の華を咲かせた文化祭！

10月23日(日)、令和4年度文化祭が開催されました。今年度もコロナ禍のために、多くの行事で開催方法の変更や日程の延期があり、特に体育祭は開催予定よりも一か月以上も遅れて、10月5日(水)にようやく開催されました。体育祭から約2週間たったの文化祭の開催となり、準備期間が短かったにもかかわらず、生徒一人一人の懸命な努力もあって、予定どおり開催することができました。今年は3年ぶりに文化祭を保護者の方々にも御覧いただけることになり、全校生徒が一生懸命に練習・準備してきた成果を保護者の方々の前で発表できたことは、とてもうれしいことでした。今年度の文化祭テーマは「結束～想いをかたちに 咲き誇れ芸術の華～」です。今年度がスタートしてから「結束」のテーマの下、全校生徒が一つになって数々の行事を成功させてきました。また、文化祭テーマにある「想い」には、一人一人の様々な想いが込められています。準備期間中にふくらんでいった文化祭への期待の想い、展示作品に込められた制作者の想い、演技や演奏を通して劇や演奏の成功を願うひたむきな想い、そして何よりも、コロナ禍で思うような活動ができなくてため込んできた想いなどなど、本番ではそうした一人一人の想いを解き放って様々なかたちに表現し、色とりどりの芸術の華を咲かせてくれました。

以下に、文化祭閉祭式の講評でお話したことを載せます。

文化祭週間スタートから前日祭と今日の本番と、皆さん、お疲れさまでした。感じたことを何点かお話します。展示作品はもとより、前日祭と本番のステージ発表、とてもすばらしかったです。この気持ちは、私だけでなく先生方も保護者の方々もきっと同じだと思います。文化祭を通じて今回も仲間の大切さを強く感じました。喜びも達成感も仲間と一緒にの方が倍増するものです。前日祭のパフォーマンス(ダンス、お笑い等)のクオリティがとても高かったです。吹奏楽の演奏は様々なレパートリーがあって、とても楽しむことができました。さすが東北大会出場の音色だと感心しました。1年生の寸劇は、コンパクトにまとまっており、半年間の成長を感じさせました。2年生の劇は、「命ある限り精一杯生きる！」というメッセージが観衆の胸にズドンと響きました。来年が楽しみです。3年生の劇は、さすがの一言に尽きます。約1時間、時間を忘れて見入ることができました。「戦争は絶対にダメ！」というメッセージが響くすばらしい劇でした。合唱コンクール、体育祭、文化祭と、全校をリードしてどれも成功に導いてくれた3年生の皆さん、ありがとうございました。さすが、長者中の顔である3年生です。今回もまた、全校で結束して、文化祭成功という新たな歴史を創ってくれました。



